

※ 毎月23日は「福岡市 子どもと本の日」です ※

— 子どもの読書活動を推進しましょう —

□ ますます重要な役割を担います！ 学校図書館

次期の学習指導要領がどのようなものになるのか、学校教育に携わる者はもちろん、国民の多くも関心を寄せているでしょう。新学習指導要領がどのような内容になるのか、それを伺うことができるのが、文部科学大臣により中央教育審議会に出される諮問です。

昨年11月に「初等中等教育における教育課程の基準の在り方について（諮問）」がだされ、文科省のホームページから見る事が可能です。（注1）

その諮問には、ある言葉が繰り返し登場します。どうやら、その言葉が次の学習指導要領のキーワードの一つになるように思われます。それが、「アクティブ・ラーニング」という言葉です。アクティブ・ラーニングを簡単に説明すると、「課題の発見と解決に向けて主体性・協働的に学ぶ学習活動」とされています。

新しい言葉を聞くと、何か新たに組み込まねばならないと思いがちですが、実は、現行の指導要領で行っている言語活動もアクティブ・ラーニングの要素が多分に含まれています。ただ、大事なことがあります。それはなぜ、アクティブ・ラーニングが提唱されているのかということです。前述の中央教育審議会への諮問にはこのようなことが書いてあります。

『「何を教えるか」という知識の質や量の改善はもちろんのこと、「どのように学ぶか」という、学びの質や深まりを重視することが必要であり、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習や、そのための指導の方法等を充実させていく必要がある。』このことは、現在の学校教育の課題を述べているとも言えるようにも思えます。

今後、このような学習スタイルが求められることを考える時、課題の発見から解決に至る学習過程の中で、学習・情報センターとしての学校図書館がますます重要な学習の場になることは必須であると言えます。そこで、学習・情報センターとしての機能が存分に発揮できるように、蔵書を含め、現在の自校の学校図書館の状況について、今のうちから学校の職員全員でチェック・検討をしていくことは、たいへん意義のあることになると思います。

（注1）2014年11月20日にだされた、文科省「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方（諮問）」へのアドレスは次のとおりです。

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1353440.htm

（注2）この記事は「学校図書館教育 2015年6月号」に掲載されている『学校図書館がかかわる「探求的な学習」の意義と取組み—次期学習指導要領に向けての諮問から改めて考える』桑田てるみ（国士舘大学教授）の記事をヒントに作成しました。ぜひ一読をお薦めします。

□ Hello! 学校図書館 ～ 金山小学校 編 ～

金山小学校では校舎4階に「あおぞら図書館」「えほんのもり」「親子読書室」が設けられ、「おはなしさんぽみち」として一体感がとられており、素敵な雰囲気がかもしだされています。



(「おはなしさんぽみち」の表示)



* 「あおぞら図書館」

「あおぞら」の名前のとおり、明るく、かつ美しく整備された学校図書館です。まず、**円形の書架**が目につきました。(写真①) 15年程前の大規模改修の折り、図書館を新しく整備した当時の司書教諭さんが、自ら設計し、用務員さんに作製を依頼されたそうです。

①



②



館内には様々な工夫が見られます。書架を少しずらして配置し、それにより生まれた空間に一人がけ用の椅子にもなる丸太が置かれていました。(写真②左下) ちなみに写真①、写真②のソファも、前述の司書教諭さんがデザインして、業者に作製してもらったもののことです。

③

柱も書架のスペースとして活用が図られています。柱に掲示板や棚を取りつけたり(写真③)、文庫本・新書本用の棚が取り付けられていました。(写真④) これらも、当時の用務員さんに依頼して作製してもらったそうです。(掲示板はすのこ！を利用したものでした。)

⑤



④



各学年の「国語の教科書にでてくる作家の本」の書架の上には、作家の紹介が置いてありました。さらに、ベンチとしての他、大型本の紹介棚としても活用できる、お手製のベンチを設ける(写真⑤)など、使い勝手良さのための工夫に満ちた心地よい空間が構成されています。

＊「えほんのもり」

⑥

たくさんの絵本が設置してある「えほんのもり」の部屋は机・いすの置かれたフロア（写真⑥）と畳敷きのコーナー（写真⑦）で構成されています。絵本は、あいうえお別や作家別に分類され、さらに棚の上には目をひく絵本がずらりと立てかけてありました。



部屋は常に開けてあり、廊下側の窓もはずされ、⑦
素敵なカーテンが掛けてありました。（滝平二郎による
「花さき山」の挿絵をモチーフとしたものや、トトロ
をモチーフとしたもので、おはなしボランティアの皆
さんが作られたものだそうです。）



⑧



⑨



「えほんのもり」の一角（写真⑧）
と廊下の踊り場（写真⑨）には、
新聞コーナーがありました。同校
では一昨年、NIEの実践校とし
て研究発表会が行われました。

＊「ひだまりのへや」（親子読書室）

「親子読書室」があるのも驚きです。部屋の正面には
先生のおすすめ本のディスプレイや「おはなし会」の
日程の案内板、さらにその左にはパネルシアター用の
ボードが置いてありました。（写真⑩）

この部屋の本の貸出しは週1回で、家読・共読の
推進にと、保護者も貸出の対象になっているそうです。
本の貸出し・管理はPTAの図書委員会の皆さんの手
で行われています。部屋背面の掲示もたいへん素敵
なものでした。（写真⑪）

⑩

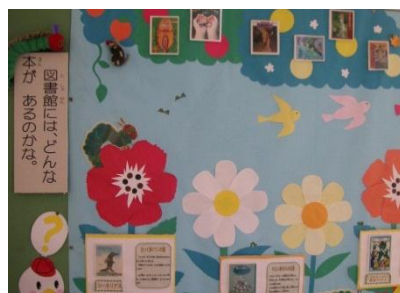


⑪

＊ 廊下の掲示物

4階廊下の掲示物も目をひくものばかりでした。

「先生おすすめ本」の掲示は、前述のPTAの図書委員会の皆さんが作成されたそうです。



□ 福岡アジア美術館・福岡市総合図書館からのお知らせ（8月～9月）

＊ 福岡アジア美術館：

図書閲覧室へいってみようヨ！！

6月11日（木）～9月1日（火）

福岡アジア美術館では
9月1日（火）まで、
8階の図書閲覧室にて、
“イマジン—争いのない世界へ”展 に合わせた
関連資料が展示されています。一人でも多くの
子どもたちが足を運び、
平和の尊さについて、
考えて欲しいものです。

“イマジン—争いのない世界へ”展 関連資料展示



図書閲覧室では戦後70年の節目にあたって、今なお世界各地で続く争いを、これまでの歴史を振り返りながら、「イマジン」展で提起されているテーマのさらにディープな部分を知ることができる資料展示を行っています。ぜひ一度見に来てくださいね。（図書ボランティア）



「アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ」（＊）
も、いつもどおり行われます。8月と9月の
日程は次のとおりです。

（8月）23日，25日

（9月）8日，13日，22日，27日

（時間）11：30～，13：00～（1日2回）

（会場）7F「キッズコーナー」

（＊）「おいでよ！絵本ミュージアム 2015」展の会期中（8月20日まで）については，毎日，
「ラウンジM8」にて，絵本の読み聞かせが行われています。（11：30～と13：00～）

＊ 福岡市総合図書館：おはなし会

福岡市総合図書館で毎月実施されている「おはなし会」について，8月後半から
9月前半の日程をお伝えします。

8月：22日（土），23日（日），29日（土），30日（日）
9月：5日（土），6日（日），12日（土），13日（日）
19日（土），20日（日）

♪ 時間と場所について：土曜日 14：30～（幼児向け）

日曜日 14：30～（幼児向け）

15：15～（幼児～小学生向け）

場所は「こども図書館 おはなしの家」です。

□ 役立つサイト・役立つ情報 見つけました！！

全国学校図書館協議会（SLA）は、学校図書館にたずさわる者にとって、最も頼りになる団体の一つであると言えます。「そのホームページは役に立つ情報が満載です！」と以前にも紹介したことがあります。今後もぜひ、定期的にチェックされることをお勧めします。

さて、今回、『学力向上のための読書活動「学校図書館ハンドブック」』（SLA発刊）という冊子がこのような文とともに、ホームページに紹介されているのを見つけました。

「学習に対する関心や意欲を育て、学び方を身につけるために、学校図書館の利用は最適です。読書指導や学校図書館の活用方法を広く知ってもらいたいという思いから、ハンドブックを作成しました。学校や教育委員会で活用してくださることを願っています。」

（SLAのホームページより）

目次を見ると、解説編には「担任による読書活動」「学校図書館の読書行事」「教科学習や総合的な学習における学校図書館の活用」など、続いて事例編には全国の小・中学校 11 校での実践例、資料編には学校図書館担当者の役割やボランティアの導入の仕方、関連団体の紹介や用語解説など、68 ページの内容の中に参考になる情報がたくさん盛り込まれています。しかも、なんと、このハンドブックは無料でダウンロードができるようになっています！

アドレスは下記のとおりです。ぜひ内容をご確認の上、ご活用ください。

http://www.j-sla.or.jp/pdfs/material/gakuryoku_kojo.pdf

□ 図書館員のひみつの本棚 《112》



福岡市総合図書館の読書相談員、重村さやかさんが紹介してくださるコーナーです。

複雑な現代社会。様々なストレスを抱えているのは大人だけでなく、子どもたちも同じです。特に、思春期の子どもたちの心はあまりにもろく、傷つきやすいもの。そんな子どもたちに、すすめたい本を、今回は紹介していただきました。

♪ 今月の「図書館員のひみつの本棚」

『大人になるって面白い？』

（清水 真砂子／著 岩波ジュニア新書

2015 年 840 円）



♪ **あとがきにかえて** * * * * *

「閑かさや 学舎にしみ入る 蟬のこえ」

芭蕉の句をもじってみました。子どもたちの姿が見えない学校は、やはりさびしさが感じられます。子どもたちの学校図書館への出入りもめっきり少なくなってしまったことでしょう。

子どもたちの出入りが無い今だからこそ、学校図書館を、改装とまではいかなくとも、蔵書のチェックを含め、配架や備品、展示・掲示物などの整備を行うのに、良いチャンスでもあります。

夏休みが明けて、再び学校図書館にやってくる子どもたちが、「あっ！」と思うような、すてきな「しかけ」で迎えることができるといいですね。

前月号で9月分まで紹介しましたので、今月は図書館歳時記をお休みいたしました。

今月号では金山小学校の学校図書館を中心とした「おはなしさんぽみち」を紹介することができました。先生方の工夫と熱意で、ここまですてきな場所になるのかと、実際に拝見させていただき、とても感心させられました。取材にご協力をいただいた金山小学校に、心から感謝申し上げます。

これからも、たくさんの学校の学校図書館を紹介できたらと思っています。どうぞ情報をどしどしお寄せいただきたく存じます。連絡は下記の電話もしくはメールをご利用ください。よろしくお願いします。

編集・発行： 福岡市教育委員会 教育支援部 生涯学習課 電話： 7 1 1－4 6 5 5 F A X： 7 3 3－5 5 3 8
--